

おうち

テーマ

生きものとのふれあい



「アルパカかわいいよ」
おかもと いろはさん 国際医療福祉大学金丸こども園(年長)



「いのちの感じ方」

栃木県総合教育センター

所長 菅谷 毅

先日、当センターの職員と共に宇都宮市内を流れる釜川の源流から田川への放流口まで歩きました。市内の中心部を流れているため、手つかずの自然がそのまま残っているわけではないのですが、カワセミに出会うことができました。

都市部においては、我々が住みやすいように環境が整備されることにより、小動物はもちろん虫も減少し、なかなかお目にかかることができなくなりました。ペットを飼うか、郊外にでも行かないと生き物と触れ合う機会が減ってきているように感じます。また、ある調査によると日本のペットの飼育率は意外と低く、調査した国の中でワースト3という結果でした。

私が幼い頃は、近くの林で昆虫を捕まえ、小川ではザリガニや小魚を捕って飼育していました。一生懸命世話をするのですが、いつしか寿命が来て動かなくなってしまうと、触れることがためらわれたのは、「いのち」の重みに対する畏怖だったのかもしれない。

幼児期の研究に、「虫との関わりが幼児の社会性の発達に与える効果」を検証したものがあり、その中で「仲間関係を育む」「思いやり、やわしさを育む」「いのちの大切さ重みを知る」等の効果があると示されています。

いじめや子どもへの虐待等が大きな社会問題になって久しいですが、幼児期に「他者への思いやり」や「いのちの大切さ」等を育むことができれば、このような問題も少し減らすことができるのではないのでしょうか。

動物や虫の飼育、植物の育成等、様々な生き物への触れ合い方があると思います。生涯を通して豊かな生活を送るためにも、幼児期に自ら生き物に親しみ、何かを感じることができるよう環境を、ぜひ作ってあげてほしいと思います。

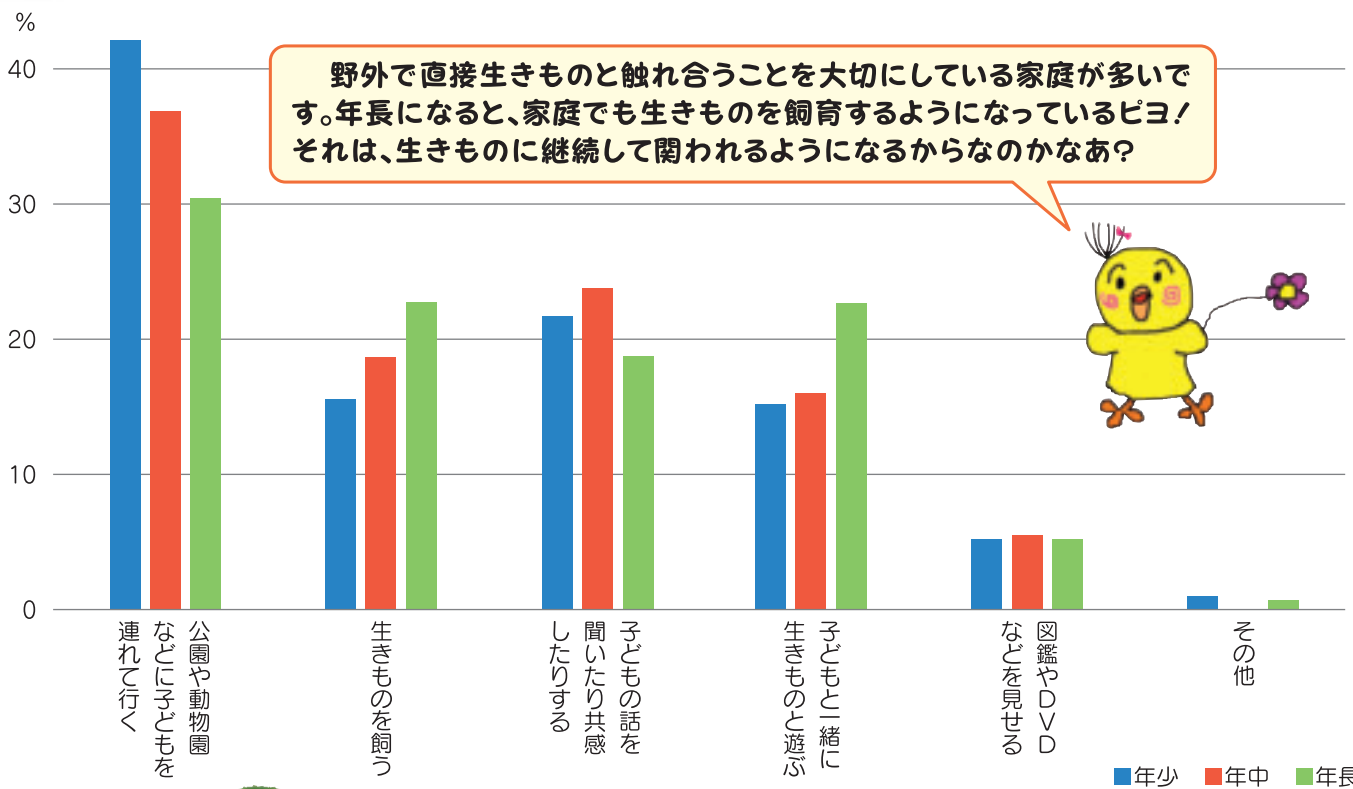
アンケート 「生きものとのふれあい」

保護者アンケート

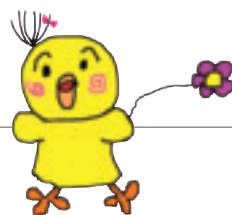
県内の3～5歳の子を持つ保護者 回答数3,781
年少(満3歳含む)1,496 年中 1,196 年長 1,089

Q1

お子さんが生きものとの関わりを深めるために、一番大切にしていることは何ですか？ (1つだけ回答)



野外で直接生きものと触れ合うことを大切にしている家庭が多いです。年長になると、家庭でも生きものを飼育するようになってきているピヨ！それは、生きものに継続して関わられるようになるからなのかなあ？



園ではこんな姿が!



本園ではウサギやニワトリ、ポニーなどを飼育していて、なでたりエサをあげたりすることを楽しんでいます。動物にも好き嫌いがあることに気付いて「ぼくと同じだ」とつぶやく姿も！まずは保育者自身が親しみをもって生きものに接し、話しかけるようにしていますが、触れ合いの経験を通して、命を大切にすることを学んでほしいと願っています。



黒田保育園
佐藤 遥 保育士



飼っていたイモムシがチョウになりました！きらきらと目を輝かせる子どもたち。好奇心を大切に、子どもにとって身近な小動物を飼ってみることも、いろいろな発見を楽しみながら、命を感じる大切な経験だと思えます。自分たちで図鑑を見て飼い方を調べ、愛着をもって関わり、育てているという感覚をもてるように支えているところです。



呑竜幼稚園
前田 桃瑚 教諭

Q2

生きものと触れ合うことを通じて、どのようなことが育ってほしいと願いますか？（2つまで回答）

第1位
命を大切にする気持ち
(2,732)



第2位
愛情や親しみ
(1,435)

第3位
思いやり
(1,188)

第4位
興味や関心
(1,017)

第5位
生きものへの関わり方
(598)

第6位
探究心
(203)

第7位
科学的な考え方
(15)



命を大切にする気持ちが育ってほしいと願う保護者が多いピヨ!!



生きものと触れ合い、感動するような体験を通して、豊かな感情や好奇心の他、思考力や表現力の基礎も培われていきます。散歩したり、野外で遊んだりする中で、身近な触れ合いを大切にしていきたいですね。

アンケートに寄せられたコメント

家ではこんな姿が!

以前はアリを見つけると潰してしまいました…いつからか「家はどこかな」「なんでこんな体の形なの？」と色々考えるようになり、「気を付けて帰ってね」と見送る姿を見てびっくりしました。

(足利短期大学附属幼稚園)

息子が急に「あっ、そこ怪我をしている虫がいるから踏まないで!」と叫ぶので、見るとそこには大きな蛾が!笑ってしまいましたが、本人はとても心配して大まじめです。

(みどり丘保育園)

赤い金魚を家で飼っていて「赤ちゃん」という名前を子どもが付けました。えさやりや、水の入替えも進んでやっています。出かける時は「赤ちゃん行ってきます」と言っています。

(栃木市いわふね保育園)

いろいろな生きものや自然との触れ合いを通して、「かわいい」とか「きれい」とか「さびしそう」とか「たのしそう」を感じ、感性豊かな人になってほしいなあと思っています。

(認定こども園マロニエ幼稚園)

生きものって面白い!!

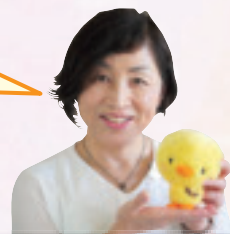
ダンゴムシは暗いところが好き。透明な容器に10~20匹ダンゴムシを入れ、容器の片側を暗くします。1時間後どうなるでしょう…



カタツムリの体は柔らかくて、粘液で守られている。とがった色鉛筆の上でも、鉛筆の芯の先を足で包むようにしながらすいすいと歩くことができるよ。

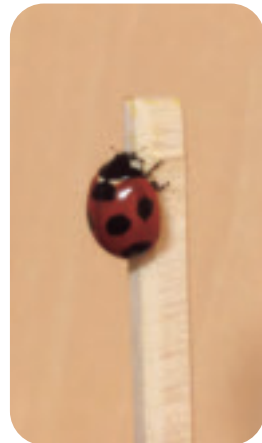


生きものの「ふしぎ」を生かして、触れ合いを楽しんでみてはいかがでしょうか？



新村 幸江 幼児教育センター長

お天道（おひさま）を目指して上へのぼっていくので、天道虫（テントウムシ）と呼ばれるようになったよ。コップのふちを歩かせると、高いところを探してぐるぐる回るよ。



参考図書 『はじめてのむしのしくとかんさつ』 2015 Gakken
『にわやつがくろのちいさないきもの』 2011 ポプラ社
『ダンゴムシ』 2013 金の星社



「栃木子どもの本連絡会」からのオススメ

「こいぬがうまれるよ」 福音館書店

ジョアンナ・コール 文 / ジェローム・ウェクスラー 写真
つばいいくみ 訳



「おとなりのいぬにあかちゃんがうまれるの。いっぴきわたしがもらうんだ！」ダックスフントの誕生から、いのちの不思議さ、成長していくことの奇跡を白黒写真でつづった科学絵本です。子どもたちに半世紀近く読み継がれています。

栃木子どもの本連絡会
北川 典子さん



「子どもに読書のよこびを」をテーマに1979年から活動しています。興味のある方は、ぜひHPを御覧ください。

<http://tochiko.holy.jp/>

家庭教育ホットライン(保護者専用)

TEL028-665-7867



受付時間

月～金曜日 午前8:30～午後9:30
土曜日 午前8:30～午後5:30

(日曜祝日、年末年始等は留守番電話・FAXでの受付となります。)

保護者のみなさん! お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか?

秘密は絶対に守ります! 一人で悩まず気軽に御相談ください!

メール相談はこちら

ホットほっとメール相談



幼児教育情報誌「おうち」 第35号
発行者 栃木県総合教育センター幼児教育部
(栃木県幼児教育センター)
URL : <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>
*バックナンバーはホームページで読むことができます。

令和元年9月2日発行
〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070
TEL : 028-665-7215 FAX : 028-665-7216
E-MAIL : yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp

